

山本將雄

今年の夏の猛暑は異常気象と云われた如く十月の中頃迄続きましたが、残暑の厳しい十月五日開催の第49回「明治大学全国校友大分大会」へ参加出席をさせて頂きました。別府市のビーコンプラザの立派な会場では先着の華本氏や吉丸氏と同席で、式典及び記念講演を観聴することが出来ました。当日の出席校友は約1,200名とかで盛大な校友大会でした。舞台上には来賓として大分県知事や地元市長も臨席され歓迎の挨拶をされました。又記念講演には校友でもあるマンクラの音楽監督、常任指揮者の甲斐靖文氏の「古賀政男とマンクラと私」のテーマで音楽やビデオ映写を交えたユニークでユーモアのある講演内容で、会場の雰囲気をもたせてくれました。

続いての懇親会には若干遅れて来られた安田氏も同じテーブルに就かれ、県支部よりの4名が同席となり、近隣の支部長及び役員の方々と親しく交流の場を持つことが出来ました。舞台上のアトラクションとして甲斐氏の指揮によるマンクラ現役学生と一部OBの共演による古賀メロディ等の演奏があり、パーティをより一層盛り上げてくれました。

大会会場の設営や式典、懇親会の運営 e t c に地元大分県校友会の情熱や心意気を感じました。その夜の宿泊先は吉丸氏と一緒にホテルと分かり、若干散会前に華本氏も含めて帰宿いたしました次第です。以上簡単ではありますが出川支部長よりの依頼もあり、校友宛ホームページへの近況報告の一文とさせていただきます。合掌